



ŌMIYA NEWS



No.92 2023年12月19日 JR東労組大宮地本

「宇都宮営業統括センター（宇都宮駅・黒磯駅）の業務体制の見直しについて」提案を受けました！

大宮地本は、12月15日に大宮支社より提案を受けました。内容は以下のとおりです。

1. 実施箇所

・宇都宮営業統括センター

2. 実施内容

(1)宇都宮営業統括センター(宇都宮駅)の販売体制の見直しを行い、効率的な業務体制を構築します。

※みどりの窓口の営業時間を6:00～21:00から、7:00～20:00とします。

(2)宇都宮営業統括センター(黒磯駅)の販売体制の見直しを行い、効率的な販売体制を構築します。また、宇都宮営業統括センター(黒磯駅)を宇都宮営業統括センター(那須塩原駅)に所管される箇所とし、管理体制の見直しを行います。

3. 実施日

・2024年3月1日

※宇都宮営業統括センター(黒磯駅)のみどりの窓口の営業は2024年2月29日をもって終了します。

4. スケジュール

	12月	1月	2月	3月
社員周知	▼			
教育・訓練		●	●	
施策実施				★

5. その他

・必要な教育・訓練は実施する。

・必要な準備は順次進めていく。

箇所体制について

		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
宇都宮営業統括センター	管理	13	5	18	13	4	17
	一般	11	26	37	9	25	34

※業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数（作業ダイヤ）を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

～提案時やりとり要旨～

【施策の目的について】

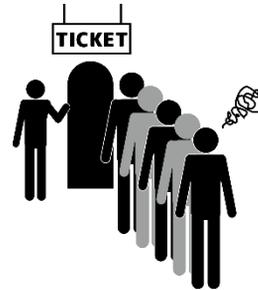
- ・効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築するため業務体制の見直しを行う。
- ・社会環境の急速な変化を見据えて「変革2027」をスピード感を持って実現していかなければいけないという認識で様々な施策を考えている。
- ・実施時期は定期多売期を避け、ダイヤ改正前に計画的に進めていく。
- ・「活躍フィールドの拡大」は進めているところであるが先を見据えてサステナブルな鉄道事業運営ができる体制を構築していく。「みどりの窓口」をなくすことで活躍フィールドを狭めるとは考えておらず、様々な場でスキル向上に努めてほしい。
- ・お客さま周知は駅頭ポスターやホームページにて行う。

【宇都宮駅について】

- ・出札を「交代4変形3⇒交代3変形2」として「4窓⇒3窓」の体制で考えている。
- ・乗り換え窓口の変化はなし。現段階マルスの撤去計画はない。
- ・自動券売機類については施策に伴う変更はない。

【黒磯駅について】

- ・長「1⇒0」 管理「交代1⇒日勤1」 一般「交代2日勤1⇒交代2」
- ・夜間帯の異常時体制については初動は黒磯、規模により那須塩原から駆けつける。
- ・最終電車不接の場合のタクシー代行については黒磯の一般社員で対応を基本とし、場合によっては那須塩原から駆けつける。
- ・自動券売機類については施策に伴う変更はない。
- ・近隣の「みどりの窓口」は那須塩原駅と新白河駅で乗車票で対応する。



サービスレベルを低下させることなく働きやすい職場環境をつくらう！